

あなたも乗ってませんか？



特集

知って、乗って、

暮らしを支える

みんなで残そう 公共交通



日々の買い物や通院、通勤・通学など、私たちの暮らしに欠かせない「移動」を支えているのが、公共交通です。

鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー、公共ライドシェアなど、それぞれの交通手段が地域の中で大切な役割を担っています。公共交通は、単に人を運ぶだけのものではありません。地域と地域、人と人をつなぎ、住み慣れた場所で、これからも安心して暮らし続けるための大切な手段です。一人ひとりが公共交通を知り、利用することが、これからの四万十町の公共交通を支える力になります。まずは、あなたの身近にある公共交通を知ることから始めてみませんか。



5 四万十町をつなぐ つの公共交通ネットワーク

四万十町の移動を支えているのは、鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシー、公共ライドシェア。役割の異なる5つの交通手段がつながり、町の暮らしを支えています。

広域を結ぶJR土讃線・JR予土線や土佐くろしお鉄道、町内の各地域を結ぶ路線バス、集落と地域中心部をつなぐコミュニティバス。そして、タクシーや公共ライドシェア（地域住民同士で移動を支える仕組み）が、個別の外出を支えています。



鉄道



路線バス



コミュニティバス



タクシー



公共ライドシェア



伊藤三喜代さん（左）と谷崎直子さん（右）

利用されている方に聞いてみました

「本当に便利がいいです」と話す谷崎直子さん。町内のコミュニティバスは、買い物やお出かけに欠かせません。東京から帰ってきて7年になる伊藤三喜代さんは、「このバスがないと生活できない」と話します。

「バスに乗って出かけるのが楽しみ。車内でおしゃべりしたり、地域の喫茶店に行ったり。毎週乗っているので、乗らないと『どうしたの？』って心配されるんです（笑）」コミュニティバスは、単なる移動手段ではなく、人と人をつなぐ大切な居場所。谷崎さんはこう話します。

「免許を持っても、『バスが走らなくなったらみんなが困るから、路線を残すために乗っている』という人もいます」そんな一人ひとりの利用が、地域の移動手段を支えています。さらに谷崎さんは、公共交通ならではのこんな楽しみ方も教えてくれました。

「どう乗り継いだら目的地に行けるか考えるのが楽しいんです。道の駅とおわに行くときも、どの路線を組み合わせたら…なんだかパズルみたいで！」

予土線

「駅までは予土線、その先はバス」

予土線とバスの“乗り継ぎ”が、もっと身近に。

モーダルミックス実証実験

がはじまりました！

令和8年10月から令和9年3月までの半年間、JR予土線と四万十交通（路線バス）が連携した「モーダルミックス実証実験」を実施します。これは、鉄道とバスという異なる交通手段を組み合わせ、地域の移動をもっと便利にする取り組みです。



路線バス

ここが重要！

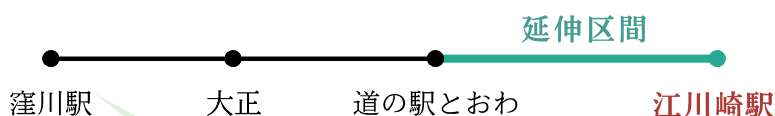
実証実験のポイント

その一

路線バスで「JR江川崎駅」まで移動することが可能に！

路線バス 窪川～道の駅とおわ線を「JR江川崎駅」（四万十市）まで延伸することで、予土線だけでなく、路線バスでも窪川～江川崎間を移動することができます。予土線とあわせて広域的な移動がさらに便利になります。

路線バス



10月からJR窪川駅前が発着します。
高知行特急との接続もスムーズに！

路線バス 上下3便
JR予土線 上下4便

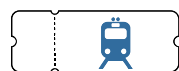
計 **7** 便になることで
選択肢が広がる！

その二

JR乗車券で「路線バス（窪川～江川崎間）」に乗れる！

JR予土線（窪川～江川崎間）を有効とする乗車券をお持ちの方は、並行して走る路線バス（窪川～江川崎間）にそのままご乗車いただけます。

路線バスもJR乗車券と同区間であれば追加料金なしで利用できるため、利用したい時間に合わせて選べます。予土線から途中の駅でバスへ、またバスから予土線へと、鉄道とバスを組み合わせた移動も可能です。例えば、JR窪川駅～JR十川駅までの切符であれば、予土線でJR土佐大正駅まで乗車し、大正駅バス停から十川駅バス停までバスに乗ることができます。



JR窪川駅～JR十川駅までの切符でどちらも乗れる！

詳しくは
四万十町HPで



モーダルミックスの利用方法

JR乗車券を持って
路線バスに乗車



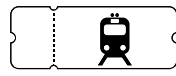
バス車内に設置してある
調査票に回答



降車時、運転手に
JR切符と調査票を渡す



+



JR乗車券でバスに乗る場合は、
調査票への回答が必要です

※予土線からバスに乗り換える場合は、列車を降りる際に乗務員へ「バスに乗り換えます」とお伝えください。そのまま切符を持って列車を降り、バスへ乗り換えることができます。

Q&A

Q. JRの乗車券は、どのようなものが対象ですか？

A. 窪川～江川崎間を有効区間に含むものであれば、普通乗車券のほか、回数券、通学・通勤定期券、フリーきっぷなどの特別乗車券類もご利用いただけます。

ただし、窪川～若井間は土佐くろしお鉄道中村線の区間となるため、窪川～若井間のみのきっぷは実証実験対象外となるほか、この区間を含まない特別企画乗車券（青春18きっぷなど）で窪川～丸山間のバスを利用する場合は、同区間のバス運賃が別途必要です。

実証実験対象外



窪川駅 若井駅
間のみのきっぷ



窪川 丸山

Q. 有効区間を過ぎてバスに乗る場合はどうなりますか？

A. 有効区間を超えて乗車したバスの区間については、別途運賃が必要です。

公共交通を使うなら、まずはここから！

ご利用になりたい路線バス、コミュニティバスおよびJR予土線の時刻を確認するときは、企画課が発行している地域別の時刻表が便利です。

地域別の時刻表は下記に設置しているほか、町ホームページにも掲載しています。

- 📖 四万十町役場 本庁（企画課、西庁舎および東庁舎の1階配架スペース等に配置）
- 📖 大正地域振興局、十和地域振興局、興津出張所
- 📖 運行する路線バスおよびコミュニティバス車内



四万十町 時刻表



四万十町HP